

# 直喩の語順が主題の意味判断に与える影響

平 知宏\* (sakusha@syd.odn.ne.jp) 楠見 孝 (kusumi@educ.kyoto-u.ac.jp)

京都大学大学院・教育学研究科

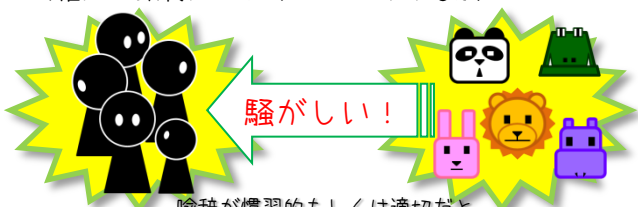
\*現所属：大阪市立大学・大学教育研究センター



## 問題

比喩表現（特に直喩）の主題における意味は、喩辞の意味に基づき理解される。また、比喩理解では喩辞の慣習性 (Bowdle & Gentner, 2005) や表現の適切性 (Jones & Estes, 2006) が処理過程に関与することから、主題が喩辞の意味を受け入れるかどうかは、それら要因と密接に関わってくると考えられる。

- 幼稚園は動物園のようだ：どちらも騒がしい



喩辞が慣習的もしくは適切だと「幼稚園は騒がしい」と理解しやすくなる？

直喩を伴う日本語の文には、2通りの表現方法がある。

- 幼稚園は動物園のように騒がしい
- 動物園のように幼稚園は騒がしい

- 従来は、喩辞の処理を中心に検討されてきたが、語順を操作することで、主題・喩辞の処理を前後させるため、喩辞だけでなく主題の役割を明らかにできる。
- 本研究は直喩を対象に、主題を特定の意味で理解する際に、主題と喩辞の語順の影響も併せて検討した。

## 方法

### 参加者

日本語を母語とする大学生・大学院生120名（男性63名、女性57名、平均20.1歳）。

### 方法

平・楠見 (2009) で用いた、主題と喩辞の組み合わせ72ペアと、それに対応する特徴72文。組み合わせから、主題と特徴文のみからなる主題統制文、主題と喩辞と特徴からなり主題が先行する主題前置比喩文、主題と喩辞と特徴からなるが喩辞が先行する主題後置比喩文の3タイプの文を作成（材料は、平・楠見 (2009) において、喩辞慣習性、表現の適切性、主題特徴重要度を5件法で測定済（詳細は資料参照））。

### 手続き

下線部の特徴は「太字」にとってどの程度重要な意味ですか？

	あまり重要でない	どちらともいえない	やや重要である	重要である
雷のように <u>幼稚園</u> は騒がしい	1	2	3	4

質問紙を用いた集団形式。練習用24文と材料文72文の計96文を参加者に呈示。96文の中に、主題統制文、主題前置比喩文、主題後置比喩文は同数ずつ含まれ、呈示される文のタイプはカウンターバランスされた。

## 結果と考察

分析対象は主題統制文、主題前置比喩文、主題後置比喩文の、主題における特徴の重要度平均評定値（図1参照）。

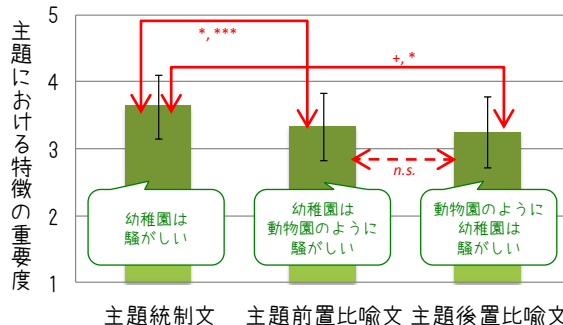


図1. 各条件文の重要度平均評定値 (range:1-5), エラーバーはSD

参加者 ( $F_p$ )・材料 ( $F_i$ ) 内の一元配置分散分析の結果、主効果が有意に ( $F_p(2, 238)=3.50^*$ ,  $F_i(2, 142)=4.75^*$ )。

- Ryan法による多重比較の結果、主題統制文と主題前置比喩文 ( $t_p(238)=2.55^*$ ,  $t_i(142)=2.97^{***}$ )、主題統制文と主題後置比喩文 ( $t_p(238)=1.89^+$ ,  $t_i(142)=2.19^*$ ) との間に有意な差。主題統制文に比べて、比喩文はその特徴の重要度が低く評価されたことが分かった。一方で主題前置比喩文と主題後置比喩文との間に有意な差は見られなかった ( $t_p(238)=0.67$ ,  $t_i(142)=0.78$ , *n.s.*)。
- 比喩文になると、特徴の重要度評定値は低くなる。
- 平・楠見 (2009) の喩辞慣習性、適切性、主題特徴重要度を独立変数、本研究の主題統制文、主題前置比喩文、主題後置比喩文の特徴重要性評定値それぞれを従属変数とした重回帰分析を実施（表1参照）。

表1. 各条件文の重回帰分析結果

	主題統制文		主題前置比喩文		主題後置比喩文	
	$\beta$	t value	$\beta$	t value	$\beta$	t value
喩辞慣習性	.01	.11 n.s.	-.00	-.05 n.s.	-.05	-.57 n.s.
適切性	.06	.69 n.s.	.20	2.52 *	.26	2.97 **
主題特徴重要度	.78	10.25 ***	.76	11.60 ***	.72	9.68 ***
adjusted $R^2$	.62		.68		.63	

N=72

### 主題理解に適切性は関与するが、慣習性は関与しない？

- 慣習性はあくまでも喩辞単独の性質であり、文全体の理解に直接的に関わってくるわけではない（別の側面からの関与の余地はある？ 今後パス解析による検討）。
- 主題の理解においては、主題における特徴の重要度（≒顕著性）がベースとなり、その上で適切性に基づき、主題-喩辞間に共通する意味が評価され、主題の意味変化が生じているのではないかと？
- また、評定法による本データの全体的な傾向に、語順による差は見られないため、語順が異なるとはいっても、いずれの表現においても、主題は同程度の意味の顕著さで理解されていると言える。しかし、読み時間測定データからは、違う結果が出ているため (CogSci2011, 日本認知科学会2011)、理解過程は大きく異なっていることが予想され、今後も詳細な検討を行っていく。

# 直喩の語順が主題の意味判断に与える影響

平 知宏\* (sakusha@syd.odn.ne.jp) 楠見 孝 (kusumi@educ.kyoto-u.ac.jp)

京都大学大学院・教育学研究科

\*現所属：大阪市立大学・大学教育研究センター



## 材料毎の多重比較 (表示は主題前置比喩文形式)

文	統制	前置	後置
アル中は寄生虫のように人を病気にさせる	3.74	3.88	3.94
星は道しるべのように道を示してくれる	3.03	2.98	3.00
優柔不断は渦巻きのように人を困惑させる	3.89	3.59	3.89
辞書は顕微鏡のように細かいところもわかる	4.00	3.34	3.84 *
聖書はセメントのように変化することがない	2.90	3.26	2.74 統制>前置
幸福は黄金のようにとても大切である	4.40	4.24	4.26
弁護士はサメのようにどんよくである	2.67	2.53	2.40
内気な子供はネズミのように目立たない	3.17	3.19	3.11
蚊は吸血鬼のように血をすう	3.98	3.87	3.98
紙ふぶきは花火のように色あざやかである	3.20	3.04	3.49
午後の空腹はライオンのように強烈である	3.55	3.27	3.09
小猿はつる植物のようにまとわりつく	2.60	2.73	2.53
試験はクマのように手ごわい	3.26	3.29	3.60
弾丸はロケットのようにとても速く飛ぶ	3.95	4.00	3.70
天才はコンピューターのように計算がはやい	3.05	3.47	3.15
ファッションモデルは線路のようにとてもほそい	3.26	3.27	3.15
待ち時間はカタツムリのようにゆっくりりうごく	3.21	3.37	2.87
湖は鏡のように光を反射する	3.33	3.43	3.26
落雷はナイフのように危険である	4.51	4.15	3.92
落胆の視線は氷のようにとても冷たい	3.74	3.90	4.00
応援団は雷のように大きな音を出す	3.57	3.79	3.69
夫は宝石のようにとても大切である	4.26	3.57	3.54 **
腕は鋼鉄のようにとても強い	2.44	2.43	2.60 統制>前置
音楽は薬のように良い気分させる	3.95	3.67	3.74 統制>後置
議員は化石のように古い	2.71	2.43	2.53
教師は百科事典のように知識がまっている	3.49	2.96	3.51
車は船のように大きい	3.00	2.53	2.57
指名手配書は肖像画のように人を識別する	3.24	3.33	3.32
地球はボールのようにまるい	4.00	4.19	4.23
唐辛子は炎のようにとてもあついで	2.64	3.02	3.09
鳥は飛行機のように羽がある	4.45	3.95	4.17
猫の毛はシルクのようにとてもやわらかい	3.40	3.38	3.63
幼稚園は動物園のように騒がしい	3.60	3.26	3.73
怒りは火山のように突然爆発する	3.57	3.87	3.54
踊り子は蝶のように華麗に舞う	3.88	4.14	3.98
教育は階段のように上へみちびく	3.58	3.52	3.70
砂漠はオープンのように焼きつけてくる	3.22	3.22	3.43
沈黙は岩のようにとてもかたい	2.94	2.94	2.65
歴史は足あとのように後にのこる	4.34	3.87	4.08
女は猫のように甘え上手である	3.19	3.10	3.31
木は傘のように光をささげる	3.05	3.13	3.19
不安は霧のように先を見えにくくする	3.80	3.72	4.00
笑顔は花のように人をなごませる	4.61	4.26	3.95 ** 統制>後置
学力は貨幣のようにあって困るものではない	4.46	4.06	4.38
悲しみは海の底のようにとても暗い	3.71	3.73	3.68
希望は子供のように大きく育つ	3.93	3.57	3.70
議論は建築物のようにどんどん積み重なる	3.68	3.60	3.37
結婚は冷蔵庫のように色々なものが詰まっている	4.14	3.73	3.49 * 統制>後置
恋は病気のように熱っぽくなる	3.34	3.60	3.46
言葉は武器のように人を傷つける	3.74	3.77	4.02
酒は恋人のようになぐさめてくれる	2.66	2.70	2.32
時間はお金のようにとても貴重である	4.40	4.57	4.49
人生はギャンブルのようにどうなるかわからない	4.63	4.32	4.35
責任は荷物のように重くのしかかる	4.12	4.24	4.23
知識はアクセサリーのように身につける	4.17	3.55	3.71 * 統制>前置
犯罪は伝染病のようにどんどん広がる	3.37	3.13	3.08
嘘はプーメランのように自分にかえってくる	4.14	3.57	3.76
男はオオカミのように本能で動く	3.14	3.31	3.40
革命は地震のように全てを変える	3.61	3.48	3.27
記憶はザルのように抜け落ちる	3.73	3.57	3.55
研究は登山のように地道にすすむ	3.98	3.86	3.80
権力は麻薬のようにやみつきになる	2.60	2.83	3.23
香水は花束のように香りがよい	3.80	3.23	3.54
孤独は砂漠のように何も無い	2.86	3.17	3.57
子猫は王女様のようにちやほやされる	3.17	3.23	3.15
仕事は監獄のように人を拘束する	3.29	3.33	3.35
情熱は溶岩のように煮えたぎる	3.69	3.35	3.43
真理は迷宮のようにわかりにくい	4.40	3.64	3.86 * 統制>前置
にわとりは時計のように人を起こす	2.67	2.76	2.83
微笑は磁石のように何かをひきつける	3.31	3.53	3.40
山道はへびのようにくねくねしている	3.55	3.10	3.11
誘惑は蜜のように甘い	3.74	3.95	3.71

## 各指標の定義と基礎データ

平・楠見 (2009) より

### ■ 喩辞慣習性 (conventionality)

喩辞がその特徴を表す意味でどの程度慣習的に使用されているか

→ 喩辞における特徴の顕著性やその意味での使用頻度等を反映する

1: 慣習的でない - 5: 慣習的である

M=3.38 (N=72, Max=4.60, Min=1.89)

### ■ 適切性 (aptness)

主題をその特徴で述べる上で喩辞がどの程度適切であるか

→ 主題に対する特定の喩辞の組み合わせ・相互関係に対する評価を反映する

1: 適切でない - 5: 適切である

M=3.18 (N=72, Max=4.58, Min=1.52)

### ■ 主題特徴重要度 (feature importance)

主題においてその特徴はどの程度重要な特徴であるか

→ 主題における特徴の顕著性やその意味での使用頻度等を反映する

1: 重要でない - 5: 重要である

M=3.34 (N=72, Max=4.59, Min=1.84)

## 各パラメータ間の相関

	1	2	3	4	5	6
--	---	---	---	---	---	---

平・楠見 (2009) より

1. 喩辞慣習性		.52	.11	.12	.18	.16
2. 適切性			.24	.25	.38	.40
3. 主題特徴重要度				.79	.81	.77

本調査データ

4. 主題統制文					.86	.85
5. 主題前置比喩文						.86
6. 主題後置比喩文						

\*赤字は5%水準以下で有意だったもの N=72

## 文献

■ Bowdle, B., & Gentner, D. (2005). The Career of Metaphor. *Psychological Review*, 112, 193-216.

■ Jones, L., & Estes, Z. (2006). Roosters, robins, and alarm clocks: Aptness and conventionality in metaphor comprehension. *Journal of Memory and Language*, 55, 18-32.

■ 平知宏・楠見孝 (2009). 比喩文の適切性評価に関わる主題と喩辞の認知. 日本認知言語学会論文集, 9, 465-471.